

認定こども園・さざなみの森

【取り組みのねらい】

子どもの成長発達を支援する遊具を、専門家・スタッフ
・保護者そして地域の方々と協働でつくりだす

保育環境づくりのポイント

コロナ禍によって停滞していた園庭の整備に、もう一度意識を向け、子どもの「自ら成長したい、発達したい」という思いを支援する環境づくりを行うため、本事業に取り組みました。

～こどもたちのこの力を育みたい～

☑感じる・気付く力 ☑うごく力 ☑考える
力☑やりぬく力 ☑人とかがわる力

取組み内容

11月1日 認定こども園「まあや学園」「あそびの丘」視察

11月10日 東広島市9園合同研修inくらら

12月1日 第1回 園庭ミーティング

園庭マップで、みんなの気になるポイントを共有し深める。

12月15日(水) 第2回 園庭ミーティング

今回の研修で取り組んでいくことをしぼる。「のぼれるもの」を作ることに決定する。

12月17日(金) プレックコンポーネント視察

12月20日(月) 第3回 園庭ミーティング

遊具の具体的なイメージ(場所・大きさなど)を考える。

12月22日(水) 第1回 園庭研修

木村先生・大島先生・玉井先生来園。園庭に実寸の模型を作り、大きさ、場所などを検討する。大小の高さのステージを2台作ることに決定する。

※冬休み中に、具体的な資材や設計、安全確保について検討。

1月8日(土) 第2回 園庭研修／園庭整備ワークショップ

木村先生・大島先生・玉井先生来園。保護者ボランティア

7名参加。講師・保護者・保育士が協働し、遊具を作る。

※1～2月 子どもたちが遊ぶ様子を観察し、気づきを共有。

3月16日(水) 第3回 園庭研修

木村先生・玉井先生オンライン参加。フォトカンファレンスを通して、プロジェクトの振り返りを行う。



園庭の気になるポイントを共有



実寸大の模型を作成する



講師・保護者・保育士が協働して制作する



フォトカンファレンスで子どもたちの成長を共有する

<フォトカンファレンスの紹介>



ステージが完成してすぐ、高いステージに興味を持って挑戦していたUくん。諦めず何度も取り組む。それを見ていたFくんは、始めは低いステージで満足していたが、Uくんの姿に刺激を受け挑戦するようになった。

諦めず挑戦していく中で、たくさん考え、体を動かし、体の使い方や登り方を自分で見つけていき、登れるようになった。登れた達成感を味わったFくんは、Uくんに登り方を教えてあげ、Uくんも登れるようになった。

FくんとUくんは、登れた特別感や達成感を二人だけでしっかり味わっていた。気持ち共有する力、助け合う力、自分を信じ諦めない力を見た瞬間だった。

子どもの成長を願う人々が集まり、ともに手を動かし、遊具を作り出すことができました。現在ステージのまわりには、試行錯誤する姿、達成感に満ちた姿、悔し涙を流す姿、友達に助言し励ます姿など、さまざまなたくましい姿がある。子どもたちの姿を見ながら園庭をよりよく整備していくことは、これからも必要である。今後も見直し議論することを継続して行なっていきたい。



<今回の取組みを通して>

子どもたち一人ひとりの想いをキャッチし、スタッフみんなで話し合い、どんな環境を、どんな遊具を自分たちで創つたらいいのか考える機会をいただきました。そして専門家やスタッフ、保護者や地域の方々との協働で、新しい手づくり遊具を生み出すことができました。感謝です。

